

令和5年度 保土ヶ谷区区民意識調査の 結果がまとまりました

保土ヶ谷区では、より多くの区民の皆様にとって暮らしやすいまちづくりを進めていくため、日常生活における意識やニーズに関する調査を行いました。このたび、結果がまとまりましたのでお知らせします。

1 主な調査結果

(1) 保土ヶ谷区への愛着

- ・「愛着を感じる」(33.8%)と「やや愛着を感じる」(45.5%)を合わせた8割近くが愛着を感じている。

(2) 定住意向

- ・「住み続けたい」(28.4%)と「たぶん住み続ける」(46.1%)を合わせた7割以上が定住意向を持っている。

(3) 市の行政サービス(満足しているサービス・今後、充実してほしいと思うサービス)

- ・満足度が最も高いのは、「バスや電車の利便性」(56.6%)。
- ・充実への要望が最も高いのは、「最寄り駅周辺のまちづくり」(45.4%)、次いで「商店街や産業振興など地域経済の活性化」(44.9%)。

(4) 安心して子育てできるまち

- ・「そう思う」(9.3%)と「どちらかといえばそう思う」(62.7%)を合わせた7割以上が「安心して子育てできるまち」だと感じている。

(5) 地域との関わり(隣近所との日頃の付き合い方・理想の付き合い方)

- ・日頃の付き合い方で最も多いのは、「挨拶だけする程度」(42.2%)。
- ・理想の付き合い方で最も多いのは、「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」(30.7%)。

(6) 次の100年にも残したい区の魅力(区制100周年に向けて)

- ・約8割が「緑豊かな自然を感じられる環境」(78.9%)を区の魅力だと感じている。

2 概要

調査対象	区内在住18歳以上の方4,000人(外国籍区民含む)	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送、郵送又はインターネットによる回答	調査期間	令和5年6月12日～6月26日
回収結果	1,714票(回収率:42.9%)		



3 報告書の公表

調査報告書は、区ホームページに掲載するほか、区役所（2階22番窓口）でも閲覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/kusei/tokei/ishiki/ishiki-r05.html>

お問合せ先

保土ヶ谷区区政推進課長 松藤 咲子 TEL 045-334-6220



GREEN × EXPO 2027
2027年国際園芸博覧会

保土ヶ谷区は2027年に
区制100周年を迎えます

データで見る!

ほどがや区民のきもち

(令和5年度 保土ヶ谷区区民意識調査結果)

保土ヶ谷区では、区民の皆さんの防災・福祉・地域との関わりなどに対する区民の皆さんの意識や区政へのニーズなどについて調査を行いました。調査結果を分かりやすくご紹介します。報告書は、区ホームページに掲載しています。



▲報告書掲載
ページ

【調査概要】

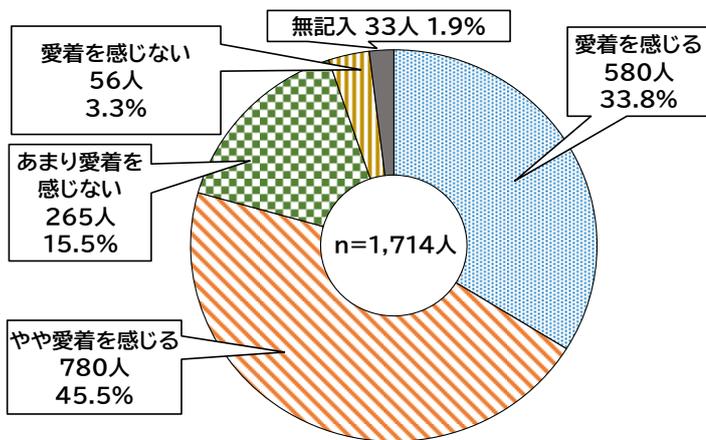
調査期間: 令和5年6月12日～6月26日

調査対象: 保土ヶ谷区内在住18歳以上の方4,000人

回収結果: 1,714票(回収率: 42.9%)

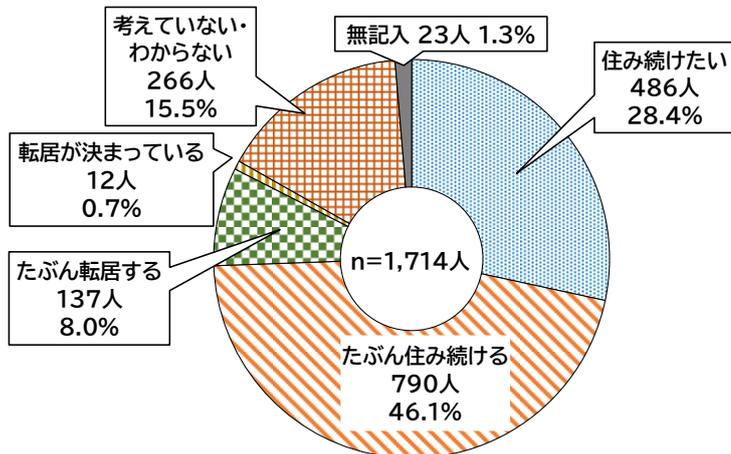
保土ヶ谷区は好きですか？

Q. あなたはどのくらい保土ヶ谷区に愛着を感じていますか。



「愛着を感じる」と「やや愛着を感じる」を合わせると、**8割近く**の方が保土ヶ谷区に愛着を感じています。

Q. これからもずっと保土ヶ谷区に住み続けたいと思いますか。



「住み続けたい」と「たぶん住み続ける」を合わせると、**7割以上**の方が保土ヶ谷区に住み続けたいと思っています。

まちの魅力づくりに期待することは？

Q. これからのまちの魅力づくりに期待することは何ですか。

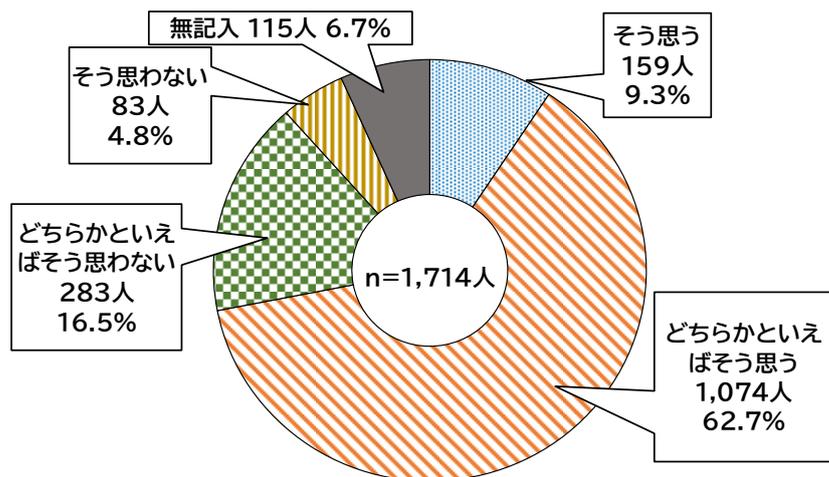
- 1位** 自然を感じることができるスペースの創出 **62.4%**
- 2 安心して子育てできる環境の充実 45.7%
- 3 多世代が集まり交流できる場づくり 43.9%



陣ヶ下溪谷公園

「安心して子育てできるまち」だと思いますか？

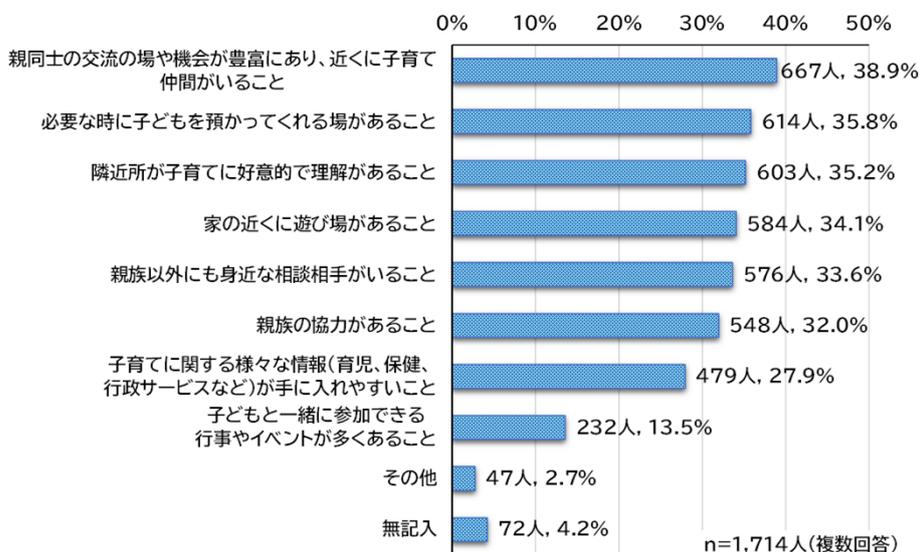
Q. 保土ヶ谷区は、「安心して子育てできるまち」だと思いますか。



「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、**7割以上**の方が安心して子育てできるまちだと感じています。



Q. 子育てをする上で、特に必要なことは何だと思いますか。



赤ちゃん教室や子育て支援者の育児講座をはじめ、親子が交流、相談できる場があります。

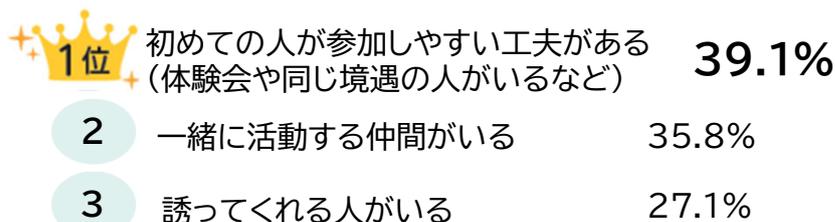


▲ダウンロードはこちら

「近くに子育て仲間がいること」が最も多くなりました。

どうしたら地域活動に参加しやすい？

Q. より多くの方が地域活動に参加できるようにするためには、何が必要だと思いますか。



「人とのつながり」があると、地域活動に参加しやすいと思う人が多いようです。

アワーズ(市民活動支援センター)が区民の皆さんの市民活動をサポートします。



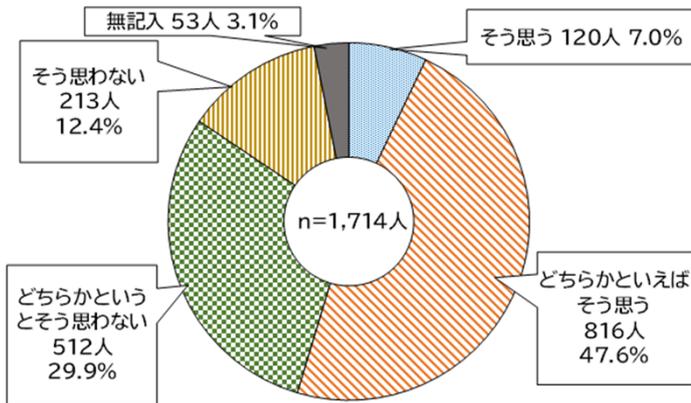
▲アワーズでの相談の様子



▲詳細はこちら

「安心していきいきと暮らせるまち」だと思いますか？

Q. あなたの住んでいる地域は、高齢者や障害者、子どもなどが「つながり支え合い、安心していきいきと暮らせる」地域だと思いますか。



「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、**5割以上**の方が、「つながり支え合い、安心していきいきと暮らせる」と感じています。

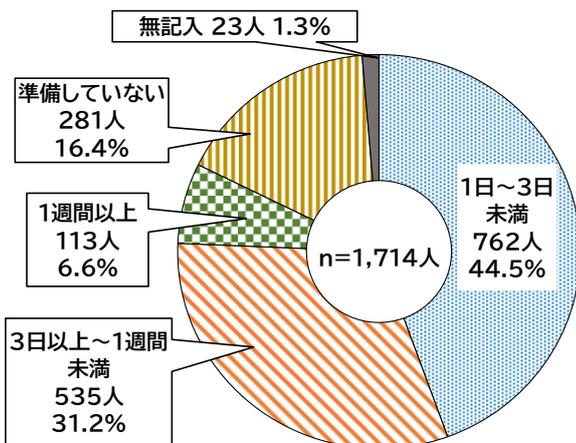
みんなで「暮らしやすいまち」にしていくため、「保土ヶ谷ほっとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)」を策定しています。



▲ダウンロードはこちら

防災対策をしていますか？

Q. あなたのご家庭では、災害に備えて何日分の食料と飲料を準備していますか。



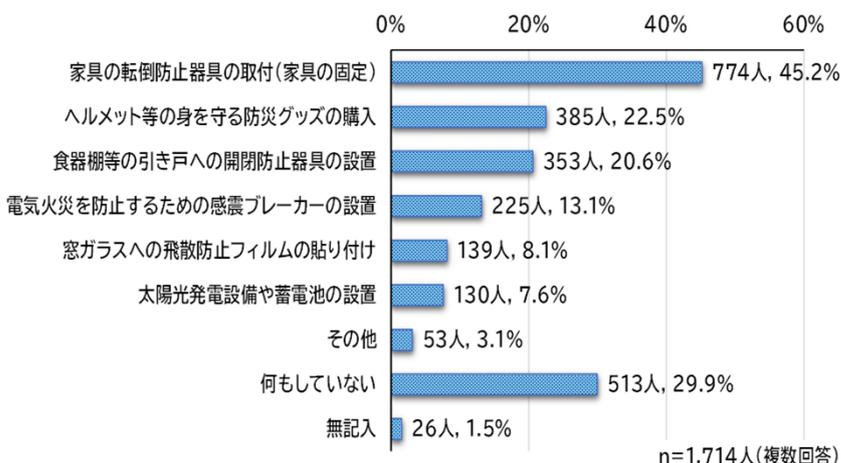
備蓄の目安である「3日以上~1週間未満」と「1週間以上」の備蓄をしている家庭は、**約4割**でした。

ストレスの少ない「在宅避難」の準備をしましょう！
リーフレットは、区役所等でも配布しています。



▲ダウンロードはこちら

Q. あなたのご家庭では、災害発生時に命を守るために、どのような対策をしていますか。



「家具の転倒防止器具の取付(家具の固定)」を**4割以上**の家庭で行っている一方で、「何もしていない」家庭は3割近いことがわかりました。

花の街ほどがや

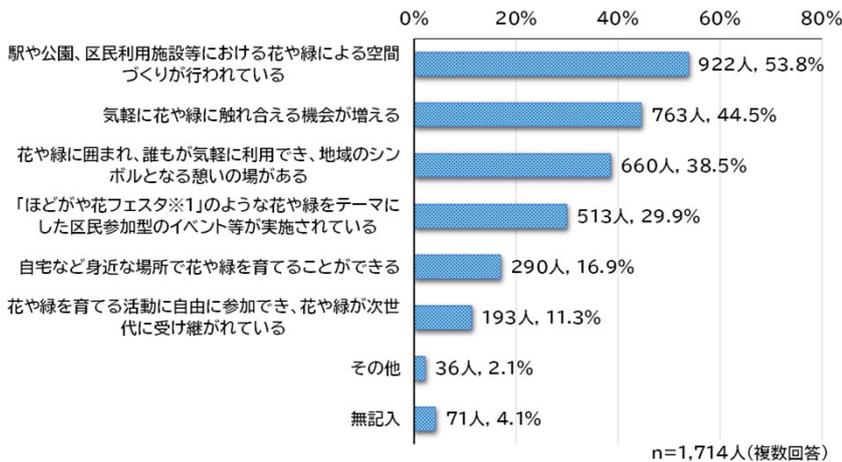
保土ヶ谷区では、平成10年に「ほどがや花憲章」を制定し、地域・学校・事業者の方々とともに連携しながら人や自然に優しい「花の街ほどがや」づくりを進めています。



▲ほどがや花憲章

「花と緑のあふれる魅力ある街」とはどんなイメージ？

Q. 「花と緑のあふれる魅力ある街」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか。



▲幼稚園で花を育てている様子

花や緑に親しみ、環境への関心を持ってもらうため、区内の保育園や幼稚園、小・中学校に「ほどがや花フェスタ」の会場を彩った花苗などを配付しています。

保土ヶ谷区は令和9(2027)年に区制100周年を迎えます！

次の100年に残したい区の魅力は？

Q. あなたが次の100年にも残したいと思う保土ヶ谷区の魅力は何ですか。

- 1位 緑豊かな自然を感じられる環境 78.9%
- 2位 活気のある商店街 36.6%
- 3位 歴史や遺産を感じられる街並み 36.4%



県立保土ヶ谷公園

性別・年齢問わず、「緑豊かな自然を感じられる環境」が最も多くなりました。

区内には、公園や水辺など身近な場所にたくさんの自然があります。



復元した松並木



洪福寺松原商店街

2027年は「GREEN×EXPO 2027」が開催されるとともに、保土ヶ谷区が区制100周年を迎える年です。区民の皆さんと一緒に区のさらなる魅力向上に取り組んでいきます。